

# 府中市教育大綱

広島県府中市

令和5年6月改訂



## 府中市教育大綱の全体像

豊かな人生とよりよい社会を創造するために、  
自ら考え行動できる主体性と創造性を備えた人を育む

～生涯学び続けるひとづくり 先進教育のまち 府中の実現～

### 1 グローバル化する社会の持続的な発展に向けて学び続ける人材の育成

- (1) 小中一貫教育を中核にした一貫性のある教育の推進
- (2) グローバル人材育成
- (3) 言語能力・英語力の向上による、論理的思考に基づく学力の向上
- (4) 地域・産学官連携、キャリア教育

### 2 誰一人取り残さず、全ての人の可能性を引き出す共生社会の実現に向けた教育の推進

- (1) 子供たちの抱える課題の解決に向けた予防的支援を含めたセーフティネットの充実
- (2) 児童生徒の自己実現を支援する放課後学習の場の創出
- (3) 児童生徒一人一人に最適化された教育内容、教育環境の整備
- (4) 特別支援教育の充実
- (5) 児童生徒等の心身の健やかな育成に向けた学校保健、食育、スポーツ活動、豊かな感性を育む読書活動の推進

### 3 地域や家庭で共に学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進

- (1) コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進
- (2) 社会教育施設(公民館や図書館等)の機能強化
- (3) 自らの向上や地域社会への貢献の意欲を持った地域社会の担い手を育成する生涯学習の推進
- (4) 災害時において「自分の命は自分で守る」自助共助の意識醸成を目的とした防災教育

### 4 教育デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進

- (1) 学習の基盤となる情報活用能力の育成
- (2) 教師の指導力向上・ICT 環境整備の充実
- (3) 地域や企業と連携・協働した体験活動(自然体験活動、社会体験活動、文化芸術活動等)の機会充実

### 5 まちづくりへの貢献

- (1) 歴史・文化を生かしたまちづくり
- (2) スポーツを生かしたまちづくり
- (3) 食育を生かしたまちづくり

豊かな人生とよりよい社会を創造するために、  
自ら考え行動できる主体性と創造性を備えた人を育む  
～生涯学び続けるひとづくり 先進教育のまち 府中の実現～

「持続可能な社会の創り手」となる将来を担う人材を羽ばたかせ、生涯にわたって学習や能力向上に取り組み、「しあわせ」が実感できる教育を、全国トップランナーとして挑戦し続ける先進教育都市 それが『教育都市 府中市』です。

令和5年6月 府中市長 小野申人

## はじめに

人々の価値観が大きく変化し、多様化していく中、お互いを認め合い、全ての人が自分らしく幸せを感じられる人生やよりよい社会を創造・実現していくためには、自律して生きていく力を備えた人づくりが極めて重要であり、それは自ら考え行動できる主体性と創造性を備えた人を育むということです。そのためには、一人ひとりの資質・能力を高めるとともに自ら考え行動できる力をつけ、他者とのコミュニケーションを通じて協働し、問題を解決していく教育機会を増やしていく必要があります。また、家庭や地域、学校が連携を図りながらふるさとに誇りや愛着を持ち、生涯にわたって、教養を高め、学びを通じて地域や社会とかがわり続けることが重要です。

また、第5次府中市総合計画(令和2年6月策定)における「まちの将来像」に掲げた「しあわせ実感」すなわち「心身ともに健康で、幸せな感情が持続的である状態」の実現は、教育の場面においても重要です。

友人関係や地域住民との関係が良好で、学習意欲・理解度が高く、進路目標が明確である子供は主体性があり、主観的幸福度や自己肯定感が高い傾向にあるといわれています。主観的幸福度や自己肯定感を向上させることで、他者との協調性を高め、いじめや自死の防止といったメンタルヘルスリテラシーを促進するとともに、「個別最適な学び」と「協働的

な学び」を一体的に充実させます。

そういった教育を実現させるため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 1 条の 3 第 1 項の規定に基づき、国の第 4 期教育振興基本計画(計画期間:令和 5 年度から 5 年間)及び府中市教育振興基本計画(令和 5 年度から 10 年間)の柱を基に、府中市教育大綱を制定しました。

## 5つの基本方針

大綱策定の趣旨を実現し、少子高齢化やグローバル化、格差拡大や社会のつながりの希薄化に対応し、かつ急激で不確実な変化が予測される将来に向けて強靱な社会を構築するための人材を育成するため、次の5つの基本方針を定めます。

- 1 グローバル化する社会の持続的な発展に向けて学び続ける人材の育成
- 2 誰一人取り残さず、全ての人の可能性を引き出す共生社会の実現に向けた教育の推進
- 3 地域や家庭で共に学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進
- 4 教育デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進
- 5 まちづくりへの貢献

## 1 グローバル化する社会の持続的な発展に向けて学び続ける人材の育成

将来の予測が困難な時代において、社会の持続的な発展に向けて学び続ける人材の育成が必要となっています。AI やロボットによる代替が困難な「新しいものを創り出す創造力」や、他者と協働しチームで問題を解決するといった能力を身につけるため、社会の持続的な発展に向けて学び続ける人材を育成します。

そのために、児童生徒が「現在学ぶこと」と「自己の将来」とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を育成する取組を通じて、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していくキャリア発達を促進していきます。

- (1)小中一貫教育を中核にした一貫性のある教育の推進
- (2)グローバル人材育成
- (3)言語能力・英語力の向上による、論理的思考に基づく学力の向上
- (4)地域・産学官連携、キャリア教育

## 2 誰一人取り残さず、全ての人の可能性を引き出す共生社会の実現に向けた教育の推進

障害や不登校、日本語能力、特異な才能、複合的な困難等の多様なニーズを有する子供たちをはじめ、全ての人の可能性を引き出す「個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実」を、日常の学校教育活動において推進します。

マイノリティ(少数派)一人一人の多様性と能力を尊重することにより、マジョリティ(多数派、社会全体)の変容、ひいては共生社会の実現を目指します。

- (1)子供たちの抱える課題の解決に向けた予防的支援を含めたセーフティネットの充実
- (2)児童生徒の自己実現を支援する放課後学習の場の創出
- (3)児童生徒一人一人に最適化された教育内容、教育環境の整備
- (4)特別支援教育の充実
- (5)児童生徒等の心身の健やかな育成に向けた学校保健、食育、スポーツ活動、豊かな感性を育む読書活動の推進

### 3 地域や家庭で共に学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進

地域住民が共に学べるコミュニティの維持活性化により、防災、福祉、産業振興、文化交流など、広義のまちづくり・地域づくりに関する多様な分野における地域課題の解決に寄与します。

そのために、社会教育による「学び」を通じて人々の「つながり」や「かかわり」を作り出し、協力し合える関係を醸成することで、地域における個々人の生きがい創出、「しあわせ実感」につなげます。

- (1)コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進
- (2)社会教育施設(公民館や図書館等)の学びの機能強化
- (3)自らの向上や地域社会への貢献の意欲を持った地域社会の担い手を育成する生涯学習の推進
- (4)災害時において「自分の命は自分で守る」自助共助の意識醸成を目的とした防災教育

### 4 教育デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けて、GIGA スクール構想による1人1台端末や学校における ICT 環境整備は飛躍的に進展しました。今後は、この環境を活かし、デジタル技術とデータを活用した知見の共有と新たな教育価値の創出により問題解決や価値創造ができる人材育成を目指します。

また生涯学習において、遠隔・オンライン教育の活用による受講の利便性の向上や学習履歴の可視化におけるデジタル技術の活用、公民館や図書館等の社会教育施設におけるデジタル基盤の強化やデジタル教育の充実を図ります。

- (1)学習の基盤となる情報活用能力の育成
- (2)教師の指導力向上・ICT 環境整備の充実
- (3)地域や企業と連携・協働した体験活動(自然体験活動、社会体験活動、文化芸術活動等)の機会充実

## 5 まちづくりへの貢献

備後国府や上下天領など地域の歴史・文化を学び、郷土への愛着と理解を深め、地域力の創造につなげます。また、文化・スポーツ活動を楽しみ、元気で生き生きと自分を発揮できる健康で活力に満ちた人材を育てるとともに、地域づくりや賑わい創出につなげます。

さらに、地域の特産品や食文化を知り、食する活動を推進することにより、健康の増進や豊かな人間性をはぐくみ、まちづくりにつなげます。

- (1) 歴史・文化を生かしたまちづくり
- (2) スポーツを生かしたまちづくり
- (3) 食育を生かしたまちづくり